

資料提供	
令和5年7月12日	
担当課 (担当者)	鳥取県感染症対策センター (壺岐、加賀田)
電話	0857-26-7153、7770

### 新型コロナウイルス感染症患者数（令和5年第27週：速報）

このことについて、県内の定点医療機関から報告された患者数は次のとおりです。

なお、今回から、地区毎の流行情報（感染拡大レベルの目安：鳥取県感染症対策センター分析）をお知らせします。

<集計期間：令和5年第27週（令和5年7月3日（月）～9日（日））>

地区	東部	中部	西部	合計	全国(第26週)
定点数	12	6	11	29	—
患者数	111人	62人	174人	347人	—
定点当たり患者数	9.25人	<u>10.33人</u>	<u>15.82人</u>	11.97人	7.24人
前週比(倍)	2.18倍	1.15倍	2.18倍	1.88倍	—
流行情報	—	●注意	●注意		

<参考>

- ・定点当たり患者数とは、1週間に新型コロナウイルス感染症と診断された1定点医療機関あたりの患者数。
- ・定点医療機関の内訳は、小児科定点：19医療機関及び内科定点：10医療機関

<流行情報の解説>

現在の感染状況が、第8波と比較してどの程度のレベルかを地区ごとにお知らせするもの。（図2参照）

- 注意レベル： 定点当たり10人/週（今後の感染拡大に注意が必要と考えられる段階）
- 警戒レベル： 定点当たり20人/週（感染者数の加速度的な増大のおそれがある段階）

※いずれも、定点当たり10人/週を下回れば解除。

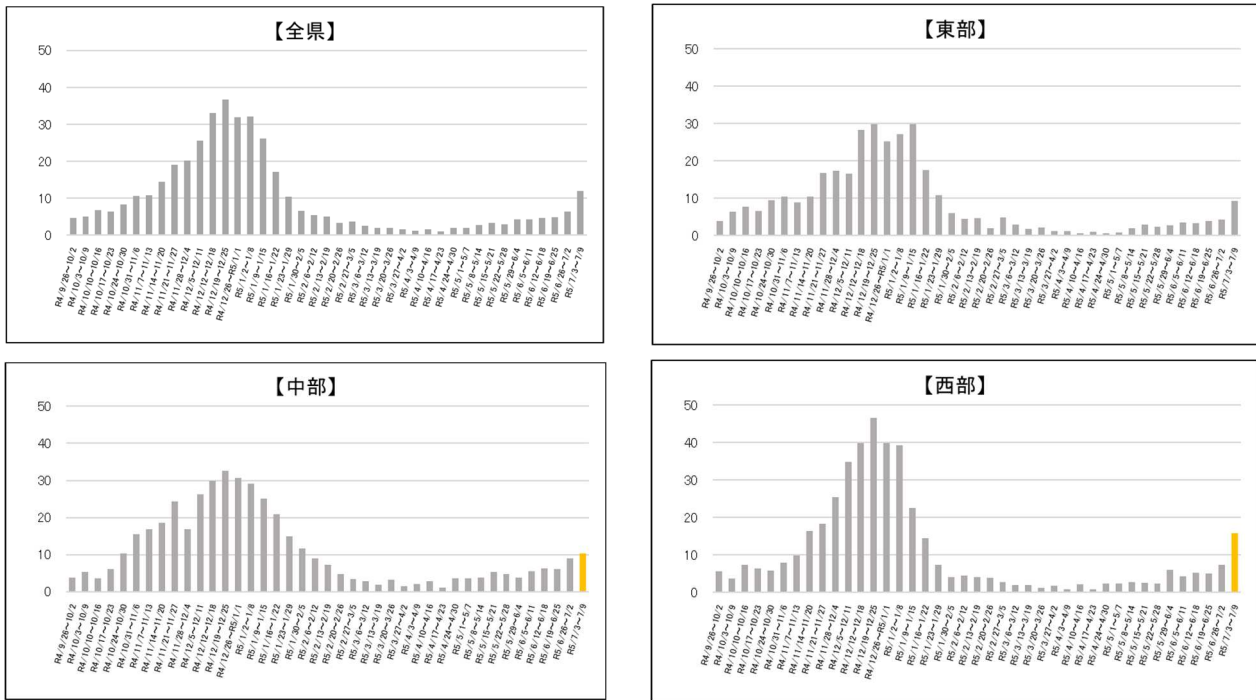
<感染動向等に係る県感染症対策センターコメント>

- ・ 前週までの緩やかな増加傾向から、全県で感染者数が急増。
- ・ 中部・西部地区においては、定点当たりの患者数が10人を超え、流行情報「注意レベル」に達し、同レベルに近付きつつある東部地区も含め、今後、更なる感染拡大に注意が必要な状況。
- ・ 入院については、確保病床以外の一般病床での受入れも行われており、現時点で入院者数の増加に伴う特段の混乱は見られないものの、他の感染症の増加などもあり、更なるコロナ患者の増加による外来を含めた医療提供体制への影響に注意が必要。

（県民の皆様へ）

- ・ 集団感染事例や学校等の臨時休業も多く発生しています。引き続き、基本的な感染防止対策（手指消毒、換気の徹底、場面に応じたマスク着用等）をお願いします。
- ・ 発熱や風邪症状など感染の不安があり受診される場合は、医療機関へ事前に電話連絡の上、受診しましょう。
- ・ 陽性が判明した場合は、無理せず自宅で安静に過ごし、周囲にうつさない配慮をお願いします。

【図1】定点当たり患者数の推移



注) 令和 5 年 第 18 週 (5/1~5/7) までは全数報告分のうち定点医療機関からの報告件数

【図2】感染拡大レベル

